

平成23年度 【 学園研究費助成金< A > 】 研究成果報告書

学部名 現代マネジメント学部

フリガナ ヲカ ュカ  
氏名 和久 豊

研究期間 平成23年度

研究課題名 キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」の育成に関する実践的研究  
ー女性リーダー育成のための DUEL プログラムの活用ー

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	和久 豊	現代マネジメント	教授
研究分担者	東 珠実	現代マネジメント	教授
研究分担者	岡田 広司	現代マネジメント	教授
研究分担者	スティーヴン. E. クアシャ	現代マネジメント	准教授
研究分担者	ロバート. P. ジー	現代マネジメント	准教授
研究分担者	塚田 文子	現代マネジメント	准教授
研究分担者	室 雅子	教育学部	准教授

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字~300字程度で記述)

本研究は、代表者・分担者らが、これまでに取り組んできた女性リーダー育成教育研究によって導出した DUEL (Discussion, Understanding, Empowerment, Leadership) プログラムを用いて、キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」(中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(平成23年1月31日))の育成をはかるための手法の提案と実践、評価を行うことを目的とした。とくに「基礎的・汎用的能力」に掲げられた「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を D・U・E・L のいくつかのプログラムに対応させて、それぞれの教育効果を把握することにした。

2. 研究方法等 (300字以内で記述)

- 1) プログラム D による「自己理解・自己管理能力」「人間関係・社会形成能力」の育成をめざし、ドリーム・マップのワークショップを計画・実行・評価した。
- 2) プログラム U による「自己理解・自己管理能力」「キャリアプランニング能力」の育成をめざし、ロールモデルによるキャリアセミナーを計画・実行・評価した。
- 3) プログラム E による「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成をめざし、演習(学生による調査)や外部組織講座への学生参加を計画・実行・評価した。
- 4) プログラム L による「人間関係・社会形成能力」「キャリアプランニング能力」の育成をめざし、学生の自主企画(商店街再生、商品開発)を計画・実行・評価した。

### 3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

#### 1) プログラム D (Discussion) の研究成果 (クアシャ、ジー担当)

2011年11月9日、16日、30日、12月7日に、1年生30名に対し、「ドリーム・マップ作成」のワークショップを実施した。本取組は、「自己理解・自己管理能力」の育成に有効であったが「人間関係・社会形成能力」よりむしろ「キャリアプランニング」の基礎力の育成に有効であった。

#### 2) プログラム U (Understanding) の実施 (東担当)

2012年2月11日に、3年生13名に対し、ロールモデルを講師とする女性のためのキャリアセミナーを展開した。本取組は、「自己理解・自己管理能力」「キャリアプランニング能力」の育成に有効であったが、「人間関係・社会形成能力」「課題対応能力」の習得にも高い効果がみられた。

#### 3) プログラム E (Empowerment) の実施 (室、和久、東担当)

「学生による調査」については、2011年度後期に、3年生46名に対し「キャリアモデルインタビュー調査」を、1年生14名に対し「地場産業調査」を課した。ここでは「課題対応能力」と「キャリアプランニング能力」の育成を目指したが、特に「キャリアモデルインタビュー調査」は前者を、「地場産業調査」は後者を高めるために有効であった。また、2012年1月29日、2月5日、12日には、2、3年生7名をあいち男女共同参画財団主催「女性のグループリーダー研修」に参加させた。この取組は、上記2つの能力よりも「人間関係・社会形成能力」や「自己理解・自己管理能力」の育成に有効であることが理解された。

#### 4) プログラム L (Leadership) の実施 (岡田、塚田担当)

「学生の自主企画」として、桜山商店街の活性化事業（継続の取組に加え、優良店舗認証事業、新商品企画など）と、ものづくり（商品開発）としての椋山ミラーの制作に取り組んだ。いずれも「人間関係・社会形成能力」「キャリアプランニング能力」の達成に効果的であったが、他方で、「課題対応能力」においても高い効果がみられた。

#### 5) 総括 (東担当)

上記より、リーダー育成のための DUEL プログラムを、キャリア教育のための「基礎的・汎用的能力」の育成に応用することは、概ね効果的であることが明らかとなった。

### 4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

① キャリア教育	② 基礎的・汎用的能力	③ ドリームマップ	④ キャリアセミナー
⑤ 演習	⑥ 調査	⑦ 商店街活性化	⑧ 商品開発

### 5. 研究成果及び今後の展望

(公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

- ・椋山女学園大学女性リーダー育成・研究グループ「平成23年度学園研究費助成金(A)報告書 キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」の育成に関する実践的研究ー女性リーダー育成のための DUEL プログラムの活用ー」、60頁程度、2012年3月15日(発行予定)